

取扱説明書

LM4190

クイックサービストリオ

取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求して下さい。

△ 警 告

本機を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。

この説明書は、いつでも使用できるように大切に保管して下さい。

目 次

	ページ
◎まえがき	1
◎使用目的	2
◎警告ラベルの貼付位置	3
◎各部の名称	4~5
◎使用方法及び使用上の注意	6~7
◎保守点検	8
◎故障対策	9
◎仕 様	10
◎給油箇所説明図	10
◎アフターサービスについて	

まえがき

この度は弊社の【クイックサービストリオ】をお買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用下さい。取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等をよく読んでご使用して頂かないと、十分な能力を発揮できないばかりでなく、人身事故やシステムの故障につながりますので、十分に理解した上、正しくご使用下さい。

お買い上げの製品や取扱説明書の内容についてご質問がある場合は、お買い上げの販売会社迄お問い合わせ下さい。

尚、取扱説明書及び警告ラベル等は大切にご使用して頂き、万一紛失、汚損された場合は速やかに購入の上、正しく保管、又は貼付して下さい。

△ 警 告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用して下さい。

危 険 … 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。

警 告 … 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。

注 意 … 取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物質損害のみの発生が想定される場合。

[1] 使用目的

このクイックサービストリオは屋内用であり、大型車整備用フロアーリフト・ミッションリフト・アクスルリフトを一体化し、フロアーリフトはピット内に設置しピット床の高さを各種作業に合わせて自在に調整することができ、作業能率をあげることのできるリフトです。

テーブル上の専用ミッションリフトは、ミッションの脱着作業を大幅に短縮することができます。さらに、本機内にはホイールを脱着できる程度の揚程をもつアクスルリフトを装備し3種の機能を持つシステムです。このため排水設備及び保守点検等に特別の配慮が必要になります。特に洗車作業には使用できません。

[2] 危険・警告事項

このシステムを使用頂く上での人身事故や自動車の損傷を防止するための重要な事柄が記載されていますので、必ずよく読み、よく理解してからご使用下さい。

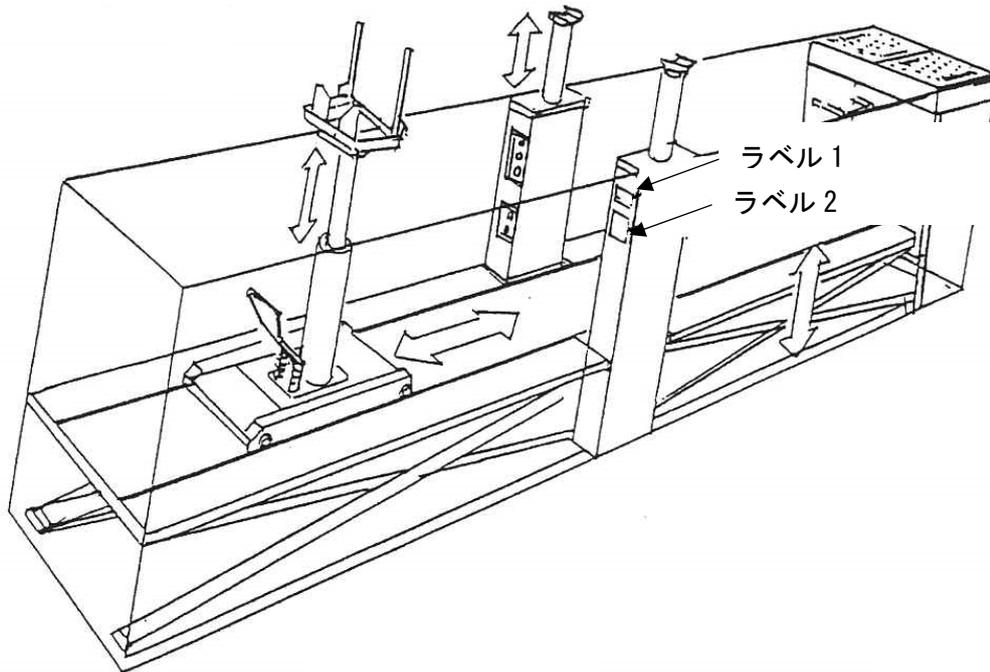
◎注意事項

1. 取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用下さい。
2. このシステムの操作は、使用方法を熟知した人以外は使用しないで下さい。
3. 使用点検及び定期点検は、取扱説明書の本文に従って必ず実施して下さい。
4. 使用時に、少しでも異常を感じた場合は、直ちにシステムの使用を禁止し、お買い上げの販売会社に連絡して、点検を受けて下さい。

◎警告ラベルの貼り付け位置及び内容

注 意

警告ラベルは、大切に使用して下さい。万一紛失、汚損された場合は速やかに購入の上、正しく貼付けして下さい。



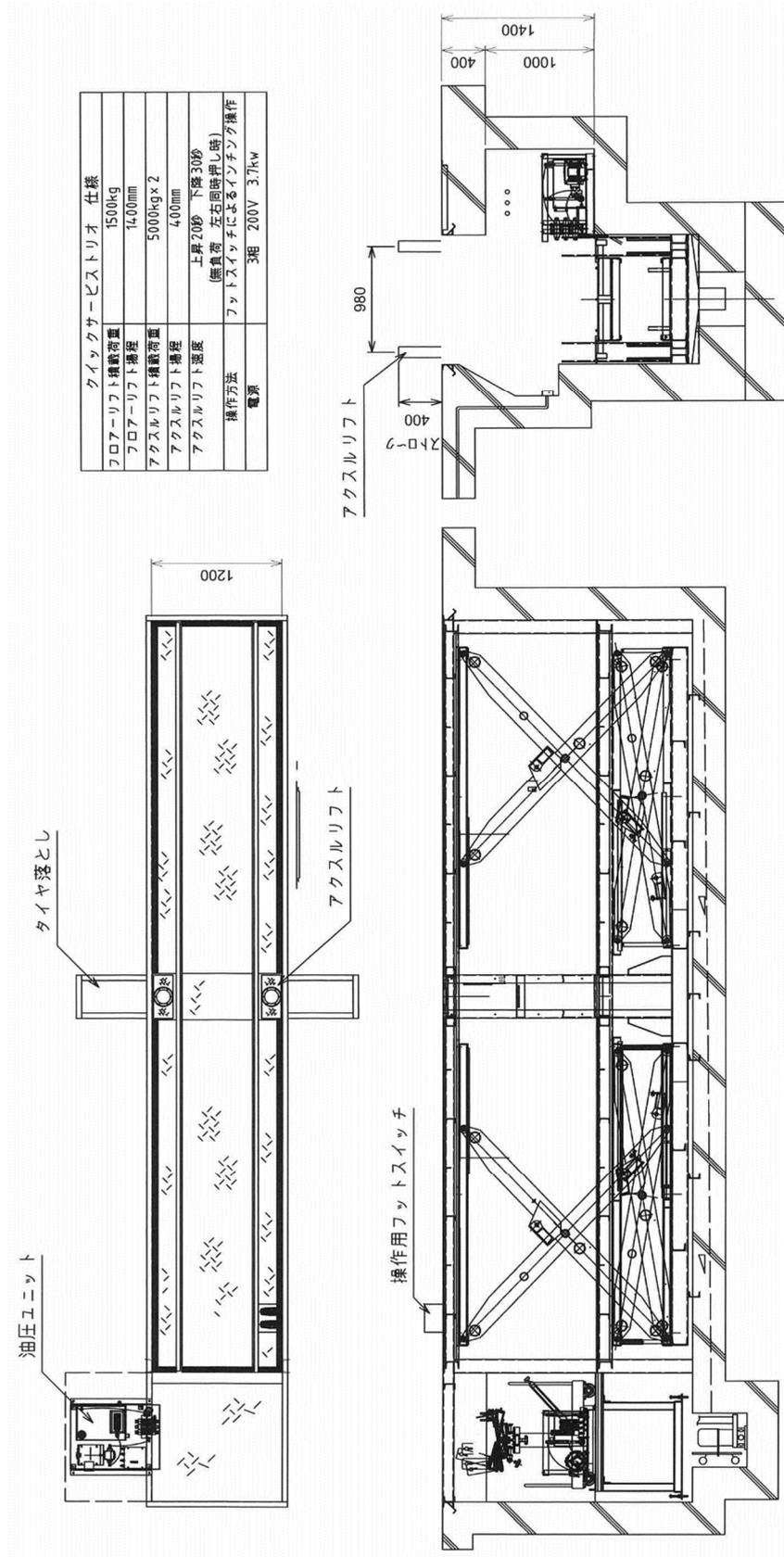
ラベル1

⚠ 危険	
	電気部品に触れる必要のある場合は、必ず元電源を切って下さい。 元電源を入れたまま電気部品に触れる必要のある時には、端子等に 触れないよう充分に注意して下さい。 ※死亡又は、重傷の危険性があります。

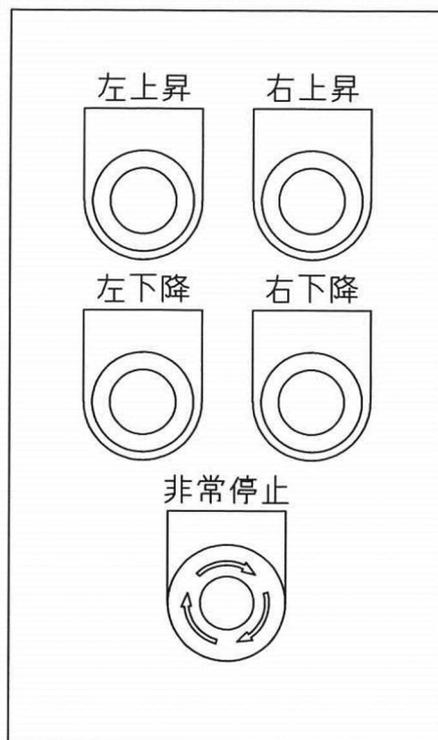
ラベル2

⚠ 警告	
○自動車の整備作業以外では、使用しないで下さい。	
○フロアーリフト及びアクスルリフトに許容荷重以上のものを乗せないで下さい。	
フロアーリフト	1500 k g
アクスルリフト	片側5000 k g
※特にテーブル面に車両の車軸を乗り上げることは絶対に避けて下さい。	
○リフトを操作するときは、周囲に注意し2人以上で作業を行うときは声を掛け合ってください。 [わき見操作はしない事。]	
○夜間又は休日にわたりアクスルリフトで車両を上げた状態で放置せずリジットラックで必ず受け直して下さい。	
○本機に直接水をかけないで下さい。	
○保守点検を定期的に行ってください。	

[3] 各部の名称



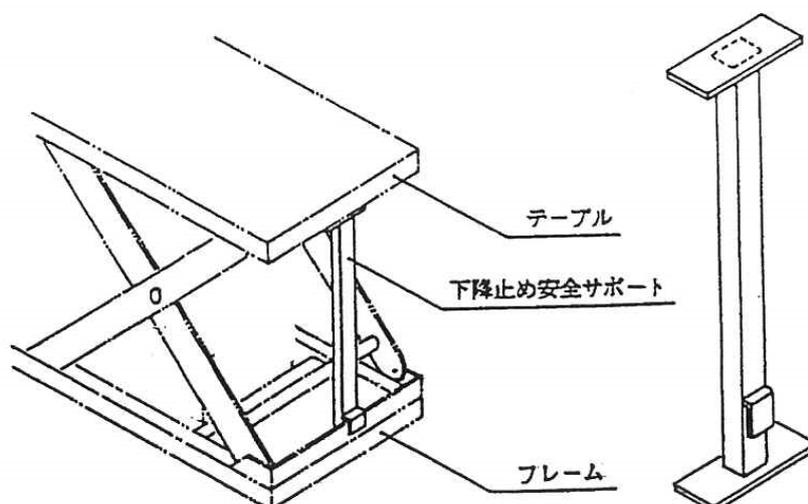
アクスルリフト用押ボタンスイッチ



(図 3-2)

△ 危険

修理等でフローリフトのテーブル下部で作業するときは、
図のように下降止め安全装置をかけること。



(図 3-3)

[4] 使用方法及び使用上の注意

4-1 使用上の注意

△ 注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、直ちにシステムの使用を中止し、お買い上げの販売会社へ連絡してください。異常箇所の修復が完了するまでは、システムの使用は禁止して下さい。そのまま使用されますと、システムの破損及び重大な事故につながる危険性があります。



警告

- 自動車の整備作業以外では、使用しないで下さい。
- フロアーリフト及びアクスルリフトに許容荷重以上のものを乗せないで下さい。

フロアーリフト	1500 k g
アクスルリフト	片側5000 k g
- ※特にテーブル面に車両の車軸を乗り上げることは絶対に避けて下さい。
- リフトを操作するときは、周囲に注意し2人以上で作業を行うときは声を掛け合ってください。 [わき見操作はしない事。]
- 夜間又は休日にわたりアクスルリフトで車両を上げた状態で放置せずリジトラックで必ず受け直して下さい。
- 本機に直接水をかけないで下さい。
- 保守点検を定期的に行ってください。

4-2 取扱い方法

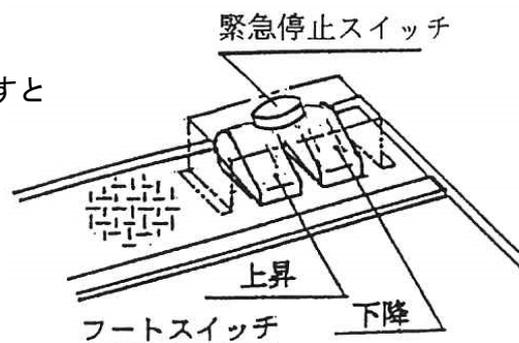
△ 注意

- ① フロアーリフト及びアクスルリフトを操作するときは4-1項の“使用上の注意”を守り安全作業に心掛けて下さい。
- ② 分電盤及び制御盤のスイッチを入れて下さい。
- ③ 車両をリフト上に進入させるときは、アクスルリフトを最下降して下さい。
- ④ リフト上で作業中は、非常停止スイッチを押して下さい。(誤操作防止)

(1) フロアーリフトの操作方法

1-1) 上昇/下降

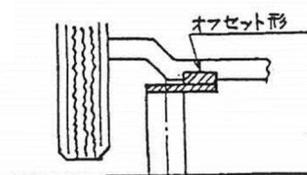
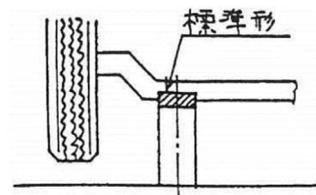
- ① テーブル上のフットスイッチ上昇または下降を押すとフロアーリフトが上昇または下降します。
- ② スイッチから離せば、その位置で停止します。
- ③ 回路異常で停止しない場合は、フットスイッチ上部の緊急停止スイッチを押して下さい。



(2) アクスルリフトの操作方法

2-1) 準備

- ① フロアーリフトを最下降して下さい。
- ② 車両の乗り込みは脱輪せぬよう十分注意して下さい。
- ③ アクスル形状に合わせアタッチメントを選定しアクスルリフトに装着して下さい。



2-2) 上昇

- ① 「左上昇」ボタンを押すと左側アクスルリフトが上昇します。
「右上昇」ボタンを押すと右側アクスルリフトが上昇します。
- ② ボタンを離せばその位置で停止します。
- ③ アクスルとアタッチメントが当たるまでは、寸動して下さい。
- ④ 左右のバランスに十分注意してあげて下さい。
※左、右は車両の進入方向にたいして云います。

2-3) 下降

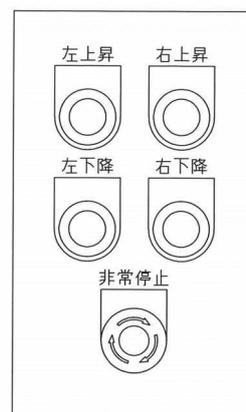
- ① 「左下降」ボタンを押すと左側アクスルリフトが下降します。
「右下降」ボタンを押すと右側アクスルリフトが下降します。
- ② ボタンを離せばその位置で停止します。
- ③ 作業終了後はアクスルリフトを完全に下げて下さい。

注意

※アクスルリフトは左、右 単独操作となっております。

左右を同時に上昇、下降するときはバランスに注意し
操作ボタンで調整して下さい。

※タイヤの脱着作業は車両をリジトラックに乗せ替えて
下さい。



アクスルリフト操作部

[5] 保守点検

注 意 フロアーリフトの下部で作業するときは、制御盤の電源を切り、下降止め安全装置をかけること。(図 3-3 参照)

時 期	点 検 項 目	点 検 要 領
毎 週	操作部の機能	各操作スイッチの機能に異常のないことを点検。 ・フロアーリフトのフットスイッチ、押ボタンスイッチの操作によるフロアーリフトの作動 ・アクスルリフトの押ボタンスイッチの操作によるアクスルリフトの作動
	作動時の異音	フロアーリフト、アクスルリフトの作動時のきしみ音等の異音が無いか点検する
	上限リミットスイッチの作動	フロアーリフトを上昇しテーブルが床面と同一になったとき停止すること
1 ヶ月毎	リンクピンの給脂	リフトの各リンクピン及びローラー軸のグリスニップルにグリスを給脂する (図 8-1 の 30 カ所)
	配管各部の油洩れ	油圧ユニット、リフト内の配管、継手部及びフレキシブルホースからの油洩れの有無を点検 洩れのあるときは増締め又は部品交換
	油圧シリンダー部	パッキンよりの油洩れを点検 パッキンの交換
	油圧作動の油量	・各リフトを最上昇しオイルタンクの蓋を開ける ・油面がサクションフィルターより 10~20 mm上になるよう点検し、少ない時は指定オイルを補給する
1~2 年	油圧作動油交換	・リフトを最下降しオイルタンク内オイルをポンプ等で抜き取る ・指定オイルを約 40ℓ 給油する (点検口及びオイルタンクの蓋を外して行う)
指 定 オ イ ル		日石 : スーパーハイランド 32 出光 : ダフニースパーハイドロリックフィールド 32 共石 : ハイドラックス 32

[6] 故障対策

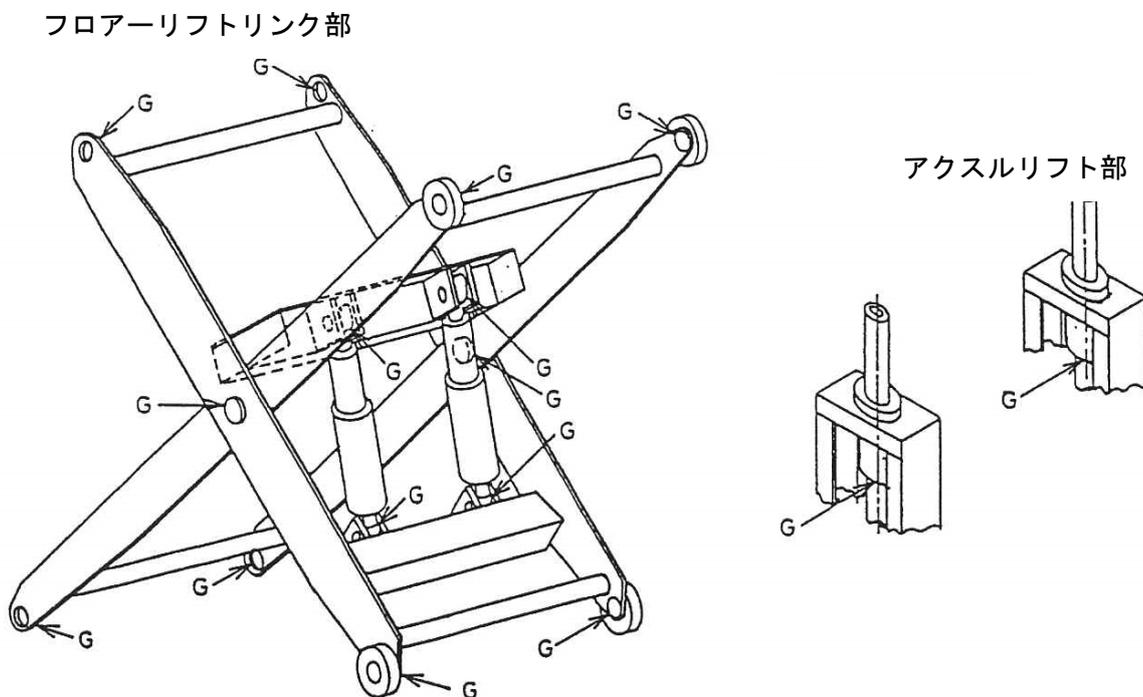
症 状	原 因	対 策
上昇しない (モーターが 回らない)	非常停止スイッチが押されている	非常停止スイッチを解除する
	電磁開閉器が入らない	操作スイッチの不良交換又は配線に断線 修正
		電磁開閉器のコイル断線→交換
		サーマルリレーの作動→リセット
	電磁開閉器の接触不良	電磁開閉器の接点交換
モーターの単相運転	3相電源の確認	
上昇しない (モーターが回る)	モーターが逆回転している	電源3線中の2本を入れ替える
	リフティングバルブのゴミ詰まり	バルブ内清掃又はバルブ交換
途中までしか 上がらない	油圧作動油の不足	指定オイルを補給する (5. 保守点検参照)
下降しない	非常停止スイッチが押されている	非常停止スイッチを解除する
	操作スイッチ及びリフティングバルブの配線不良	回路図に従い修正する
	リンクの移動車輪に障害物がある	障害物の除去
自然降下する	シリンダーパッキンの不良	パッキン交換
	ホース、配管継手より油洩れ	ホース交換、継手修正又は交換
	チェックバルブのゴミ詰まり	チェックバルブ清掃又は交換
	リフティングバルブゴミ詰まり	リフティングバルブ清掃又は交換
上昇時ノッキングする	作動油不足によるエア吸込み	作動油を補給する
	リフト本体のリンク部等、可動部の油切れ又は軸メタルの摩耗	グリスアップ又はメタル交換

[7] 仕様

項目	フロアーリフト	アクスルリフト
積 載 荷 重	1500kg	片側 5000kg
揚 程	1400 mm	400 mm
上 昇 時 間	約 46 秒/揚程	約 10 秒/揚程
操 作 方 法	フートスイッチ	押ボタンスイッチ
油 圧	MAX 140 kg/cm ²	
テーブル寸法	1170 mm × 7000 mm 又は 12000 mm	ロッド径Φ100 mm
モ ー タ ー	3相 200V 3.7kw	
付 属 品	アクスルリフト用アタッチメント ・標準形……………2個 ・オフセット形……………2個 ・降下止め安全ストッパー	

[8] 給油箇所説明図

(図 8-1)



図中G印部、各リンクピン及びローラー軸のグリスニップルへグリスを給脂して下さい。

アフターサービスについて

- ・調子が悪いときは

もう一度この取扱説明書をご覧になって調べて下さい。

特に、“6. 故障と処置”を参照下さい。

- ・直らないときは

お買い上げ販売会社に修理を依頼して下さい。

- ・保証期間中の修理

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理致します。

詳しくは商品保証規定をご覧下さい。

- ・保証期間後の修理

お買い上げの販売会社にご相談下さい。修理により機能が維持出来る場合は、お客様の要望により有料修理致します。

- ・その他

アフターサービスについての詳細、その他のご不明な点は、お買い上げ販売会社までお問い合わせ下さい。

ご相談の時は、“MODEL” “NO.” “DATE”、購入年月日、及び故障状況（出来るだけ詳しくお願いします）をお知らせ下さい。

上記事項を下の表に記録しておくとお問い合わせの時に便利です。

MODEL	
NO.	
DATE	
購入年月日	年 月 日
購入店名	社名： 担当者：
	住所： 電 話：
故障発生日 及び状況	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日